

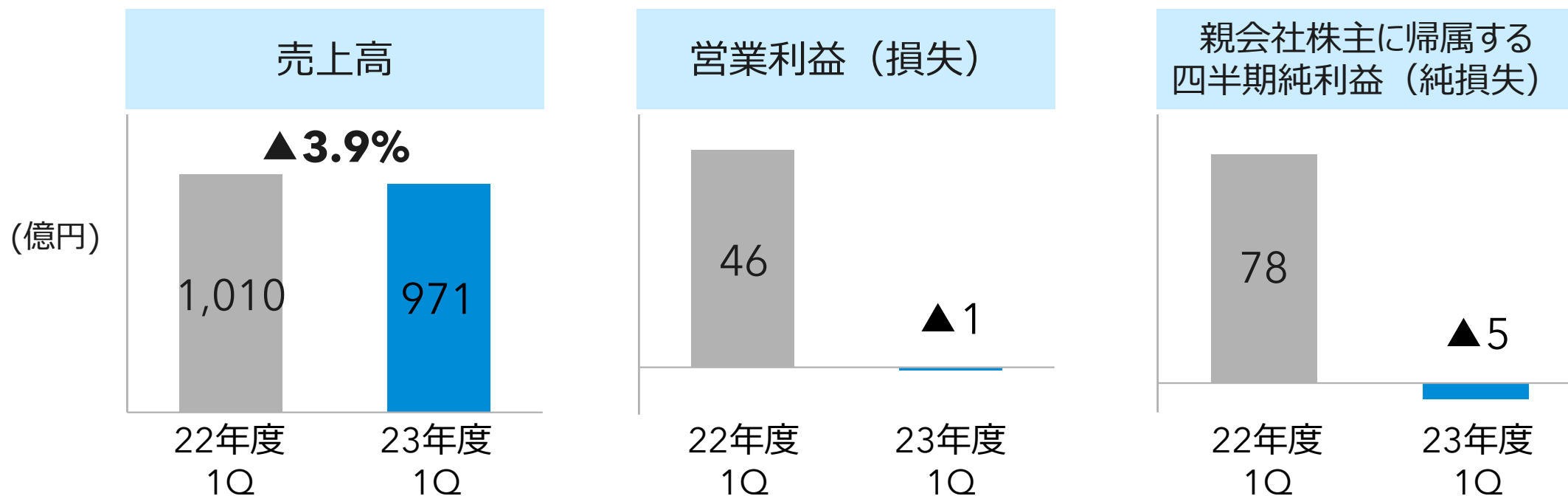
2023. 8. 7

2023年度 第1四半期 決算説明

東洋紡株式会社

第1四半期 実績

液晶偏光子保護フィルムは販売を伸ばすも、PCR検査用試薬の販売減少に加えて、包装用フィルムの需要回復が鈍く、減収減益。四半期純損失は5億円



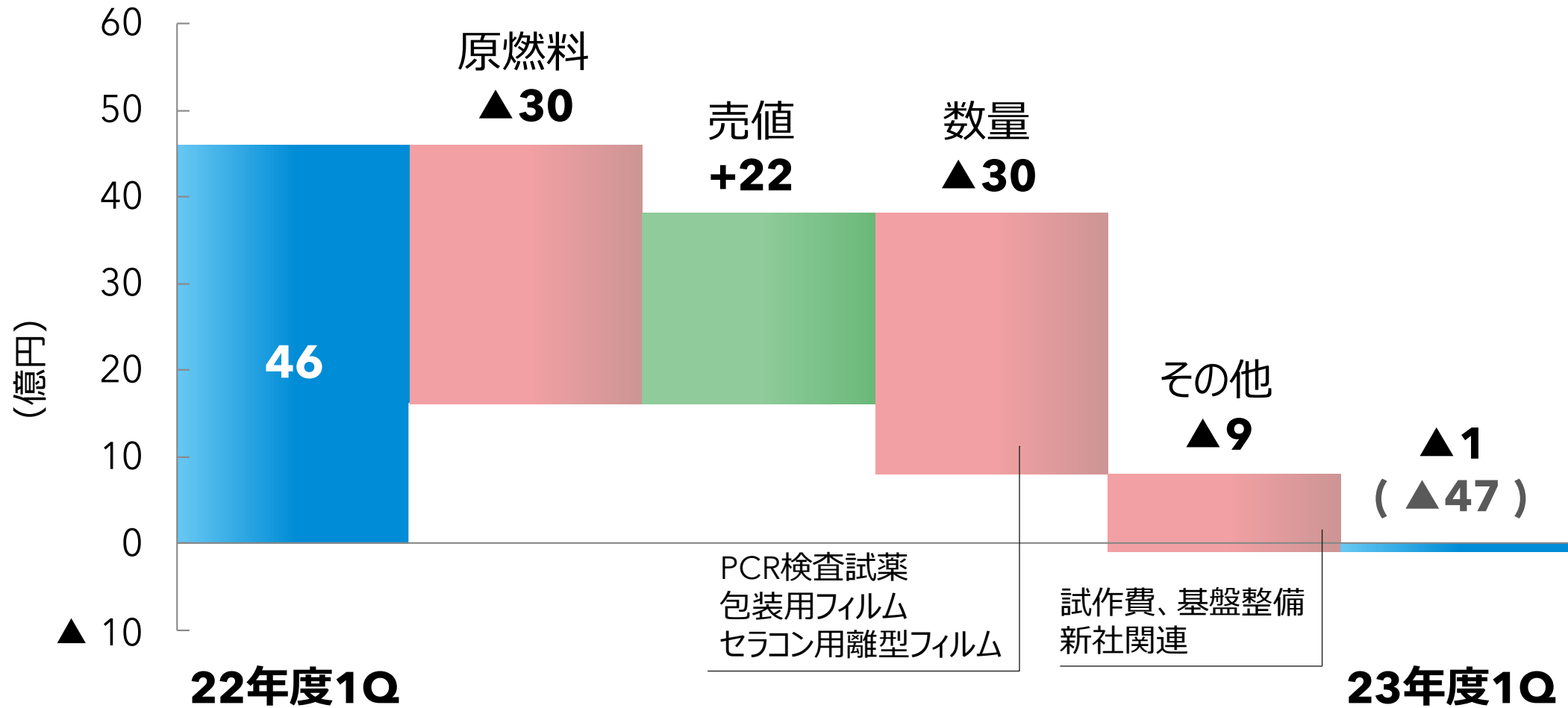
2024年3月期 通期予想

フィルムや自動車関連の数量回復、および交易条件の改善により、営業利益 150 億円、当期純利益 40 億円の予想を据え置く

(億円)

	22年度 1Q	23年度 1Q	増減	
			金額	率
売上高	1,010	971	▲ 40	▲ 3.9%
営業利益	46	▲ 1	▲ 47	-
(率)	4.6%	▲ 0.1%	-	-
経常利益	43	▲ 3	▲ 46	-
特別利益	68	0	▲ 68	-
特別損失	3	5	+3	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	78	▲ 5	▲ 83	-
EBITDA* <small>* 営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)</small>	95	44	▲ 50	▲ 53.2%
EPS (円)	87.7	▲ 5.8	-	-
減価償却費	48	45	▲ 3	▲ 6.8%
設備投資	90	108	+18	+20.0%
研究開発費	37	34	▲ 2	▲ 6.8%

営業利益の増減要因



	21年度		22年度				23年度
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
為替レート (円/US\$)	114	116	130	138	141	132	137
国産ナフサ (千円/kl)	61	66	86	81	72	67	67
	63		84		70		-

	(B)		(A)	(億円)
	22/3末	23/3末	23/6末	増減(A)-(B)
総資産	5,178	5,889	5,695	▲ 194
現預金	272	607	307	▲ 301
棚卸資産	960	1,219	1,252	+33
有形固定資産	2,276	2,402	2,476	+74
純資産	1,971	2,214	2,199	▲ 15
自己資本	1,949	1,896	1,887	▲ 9
うち利益剰余金	747	705	664	▲ 40
非支配株主持分	23	318	312	▲ 6
有利子負債	1,912	2,294	2,214	▲ 80
D/E レシオ	0.98	1.21	1.17	-
Net Debt / EBITDA倍率*	3.4	5.8	10.8	-

* (有利子負債 - 現預金) <期末> / EBITDA <年換算>

(億円)

	売上高		営業利益		
	22年度 1Q	23年度 1Q	22年度 1Q	23年度 1Q	増減
フィルム	392	390	25	12	▲ 12
ライフサイエンス	87	81	21	14	▲ 8
環境・機能材	279	250	9	▲ 7	▲ 16
機能繊維・商事	222	222	▲ 4	▲ 7	▲ 3
不動産・その他	31	28	3	4	+1
消去・全社	-	-	▲ 9	▲ 17	▲ 8
合計	1,010	971	46	▲ 1	▲ 47

セグメント別情報

TOYOBO

売上高	22年度					23年度
	1Q	2Q*	3Q*	4Q*	通期*	1Q
フィルム	392	352	356	361	1,461	390
ライフサイエンス	87	106	100	88	381	81
環境・機能材	279	278	267	283	1,108	250
機能繊維・商事	222	232	223	248	924	222
不動産・その他	31	33	30	32	126	28
消去・全社	-	-	-	-	-	-
合計	1,010	1,001	976	1,012	3,999	971

営業利益	22年度					23年度
	1Q	2Q*	3Q*	4Q*	通期*	1Q
フィルム	25	▲ 0	▲ 4	▲ 4	16	12
ライフサイエンス	21	33	26	12	92	14
環境・機能材	9	12	8	11	40	▲ 7
機能繊維・商事	▲ 4	▲ 7	▲ 7	▲ 7	▲ 25	▲ 7
不動産・その他	3	6	7	5	22	4
消去・全社	▲ 9	▲ 11	▲ 13	▲ 13	▲ 45	▲ 17
合計	46	33	17	5	101	▲ 1

*新セグメントでの22年度 2Q~4Qおよび通期実績は、監査前の暫定値です。今後、変更になる可能性があります。

(億円)

	22年度	23年度	増減	
	1Q	1Q	金額	率
売上高	392	390	▲ 2	▲ 0.4%
営業利益	25	12	▲ 12	▲ 49.7%
(率)	6.3%	3.2%	-	-

包装用フィルム

- 原燃料価格高騰に対する製品価格の改定が進むも、流通在庫の調整継続により荷動きが低調

工業用フィルム

- 液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”は、販売が大幅に増加
- セラミックコンデンサ用離型フィルムは、サプライチェーン全体での在庫調整が継続し苦戦

	22年度	23年度	増減	
	1Q	1Q	金額	率
売上高	87	81	▲ 5	▲ 6.3%
営業利益	21	14	▲ 8	▲ 36.6%
(率)	24.6%	16.6%	-	-

(億円)

バイオ

- 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、PCR検査用試薬の販売は大幅に減少
- 診断薬用原料酵素は、国内外ともに堅調

メディカル

- 人工腎臓用中空糸膜の販売が堅調

医薬

- 医薬品製造受託はFDA対応の費用発生が継続
 ※FDAより、Warning Letter解除に関する文書を受領（2023年7月5日付）

	22年度	23年度	増減	
	1Q	1Q	金額	率
売上高	279	250	▲ 29	▲ 10.5%
営業利益	9	▲ 7	▲ 16	-
(率)	3.3%	-	-	-

(億円)

樹脂・ケミカル

- エンジニアリングプラスチックは、国内において製品価格の改定が進捗し、収益性が改善
- 工業用接着剤“バイロン”は、中国をはじめアジア向けの販売が減少
- 水現像型感光性印刷版用途の光機能材料は、北米、中国向けの販売が低調

環境・ファイバー

- 環境ソリューションは、LIBS*製造工程で使用されるVOC回収装置の出荷時期のずれにより販売が減少
- 高機能ファイバーは、“ツヌーガ”は耐切創手袋、“ザイロン”は建築補強用途の販売が減少
- 不織布マテリアルは、土木・建材などでの需要減の影響を受け不調

*リチウムイオン電池セパレータ

	22年度	23年度	増減	
	1Q	1Q	金額	率
売上高	222	222	▲ 0	▲ 0.1%
営業利益	▲ 4	▲ 7	▲ 3	-
(率)	-	-	-	-

(億円)

衣料繊維

- 不採算商材からの撤退と、製品価格の改定を進めたことにより、収益が改善

エアバッグ用基布

- 自動車生産台数の回復に伴い販売量が増加

原料購入価格の上昇に対し、製品価格の改定を進めるも、収益性の改善には至らず

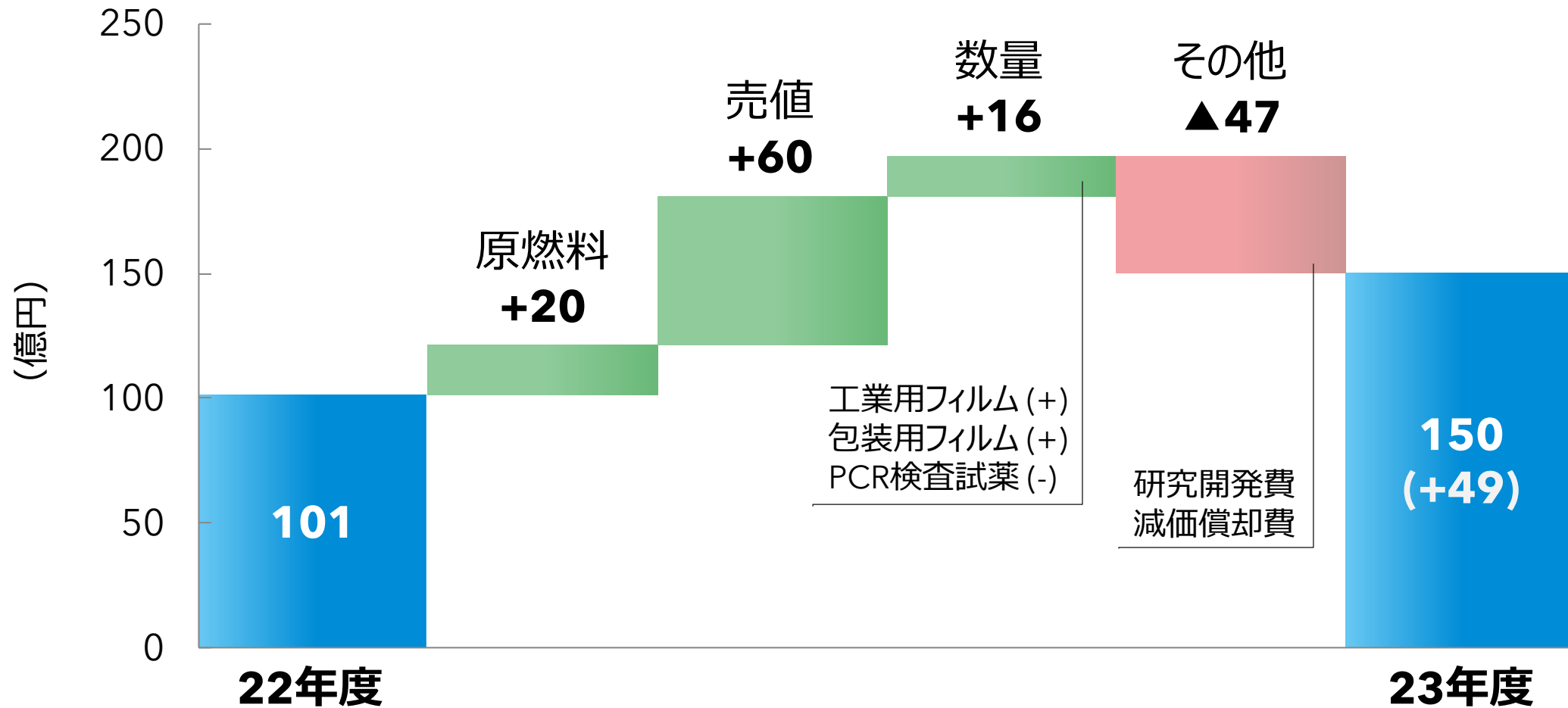
2023年度 業績見通し

フィルムや自動車関連の数量回復、および交易条件の改善により、
営業利益 150 億円、当期純利益 40 億円の予想を据え置く

(億円)

	22年度	23年度	増減	
	実績	見通し	金額	率
売上高	3,999	4,300	+301	+7.5%
営業利益	101	150	+49	+49.1%
(率)	2.5%	3.5%	-	-
経常利益	66	110	+44	+66.9%
特別損益	▲ 60	▲ 20	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 7	40	+47	-
EBITDA	291	360	+69	+23.7%
EPS (円)	▲ 7.4	45.0	-	-
減価償却費	190	210	+20	+10.2%
設備投資	427	500	+73	+17.0%
研究開発費	141	160	+19	+13.4%

営業利益の増減要因



	22年度	23年度
為替レート (円/US\$)	135	138
国産ナフサ (千円/kl)	77	61

セグメント別見通し

TOYOBO

(億円)

	売上高		営業利益			直近予想 (23/5)
	22年度 実績*	23年度 見通し	22年度 実績*	23年度 見通し	増減	
フィルム	1,461	1,670	16	88	+72	88
ライフサイエンス	381	350	92	52	▲40	52
環境・機能材	1,108	1,350	40	58	+18	58
機能繊維・商事	924	800	▲25	▲15	+10	▲15
不動産・その他	126	130	22	22	+0	22
消去・全社	-	-	▲45	▲55	▲10	▲55
合計	3,999	4,300	101	150	+49	150

*新セグメントでの22年度実績は、監査前の暫定値です。今後、変更になる可能性があります。

補足

「Morningstar ジェンダー・ダイバーシティ指数（GenDi）」の構成銘柄に初選定 ⇒ GPIF が採用する日本株の 6 つの ESG 指数すべての構成銘柄に選定

- Morningstar ジェンダー・ダイバーシティ指数（GenDi）
- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数
- MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）
- S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数



FTSE Blossom
Japan

2022 CONSTITUENT MSCI ジャパン
ESG セレクト・リーダーズ指数



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCI 日本株
女性活躍指数 (WIN)

■子育てサポート企業として「プラチナくるみん」認定を初取得

- ・次世代育成支援対策推進法に基づき、「くるみん」認定を受けた企業の中から育児と仕事の両立支援など、より高い水準で取り組む企業に対して認定

2022 年度 当社実績

- ・男性従業員の育児休業取得率 104.3 %
- ・子の1歳の誕生日に在職している女性従業員の割合 97.8 % 等



■「2023 アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に初選定

- ・英フィナンシャル・タイムズと独調査会社スタティスタが共同で実施した調査において、気候変動に対する取り組みの功績が優れている上位 275 社を選定
(アジア太平洋地域の 14 の国と地域に本社を置く企業を対象)
- ・評価を受けた当社の主な取り組み

SBT認定の取得、CDP最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に 2 年連続で選定、など 17

アナリスト・機関投資家向け 事業説明会（予定）

➤ **環境・機能材事業 8月29日（火）**

後日、当社ホームページ「株主・投資家情報」にて、説明資料を掲載予定

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

TOYOBO
Beyond Horizons